

芸術鑑賞会(ミュージックサーカス)(11月7日)

養父市まちづくり文化交流課の事業である芸術鑑賞会を開催しました。今回は、国内外でご活躍されているメンバーが集まれた「ミュージックサーカス」に来ていただきました。



オープニングからバイオリン奏者が児童のいるフロアから登場し、児童の中を抜けながら演奏して出てきました。間近すぎて驚くとともに、感激しました。



早速、入場曲に続いて、2曲披露していただきました。その後、「校歌」も演奏して下さり、みんなで歌いました。



次に、楽器ごとに紹介がありました。
まずは、「バイオリン」です。ピチカートという弦を弾く演奏方法の曲も聴かせてもらいました。続いて、「スティールパン」という楽器も紹介してもらいました。



次は、和楽器を演奏する方が、「篠笛」を紹介してくださり、他の楽器とともに1曲披露してくださいました。やはり音色がすごいですね。



次は、「タンバリン」です。見事な技を披露していただき、1つのタンバリンなのに様々な太鼓があるような音を醸し出されていきました。世界の数々の珍しいタンバリンも紹介したり、音色を聴かせたりしてくださいました。



次は、子ども達もそれぞれ楽器を1つずつ持ち、教えてもらったリズム打ちをしていきます。時には2つのグループに分け、そこに曲も入れていくと、何ともみんなでの合奏になります。



楽しい時間もあっという間に過ぎ、最後の曲である「にじ」を聞かせていただきました。聞いてもよし、歌ってもよし、持っている楽器を使ってもよし・・・ということで、楽しく終わりました。



と思いきや「アンコール」に応えていただきました。本当に本当の最後の曲は、「勇気100%」。盛会のうちに幕を閉じました。貴重な体験をありがとうございました。「芸術の秋」を堪能することができました。

